

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和5年8月21日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市中の館町4-10
団 体 名 赤松まちづくり協議会
代表者職・氏名 会長 福田 伸裕
電 話 番 号 0952-23-6002

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 赤松まちづくり協議会
- 2 事業実施期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

高齢者、子供を問わず取り巻いている様々な現代の社会問題や地域課題に対し、地域の力を結集し、周囲への気配り、目配りなど地域でできることを模索し実行する「赤松スタイル」を稼働させ、佐賀県全体へ波及していくことを望む。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

佐賀県内におけるこども食堂の活動の一端を担うことができ、子供の孤食の解消、地域での世代間交流に貢献した。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

5 寄附金活用事業実績 : (別記1)

6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)

7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
えがお食堂	①子ども食堂の赤松版。子供だけでなく一人暮らしの高齢者などに食事を提供した。孤食を防ぎ、子供から高齢者まで、世代間交流の場とした。 ②子供と一人暮らし高齢者 ③2カ月に1回、200食の弁当を作り提供した。	①6/25(土) 10/15(土) 12/17(土) 2/18(土) ②赤松公民館	185,745	61,950
固定IPアドレス導入	固定IPアドレスを導入し、公民館事務室において専用パソコンで事務作業を行った。	赤松公民館	84,040	50,000
計			269,785	111,950

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		120,000
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	120,000
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	113,000
	前年度控除額(県事務経費)還付分	7,000
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		120,000
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	111,950
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	8,050
	返礼品等の調達に係る費用	7,500
	返礼品等の送付に係る費用	0
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	550

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)		0
-------------------------------------	--	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.tsunasaga.jp/akamatsu/machikyo.html>